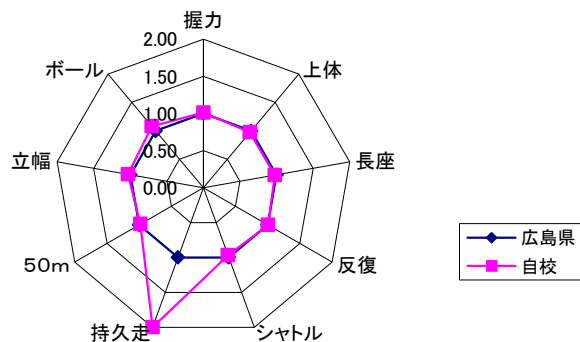


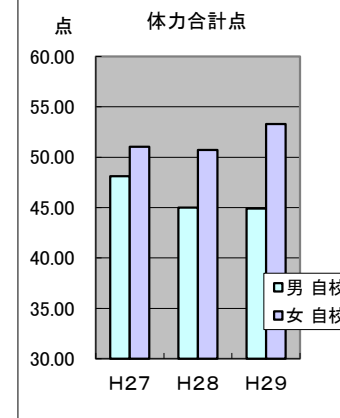
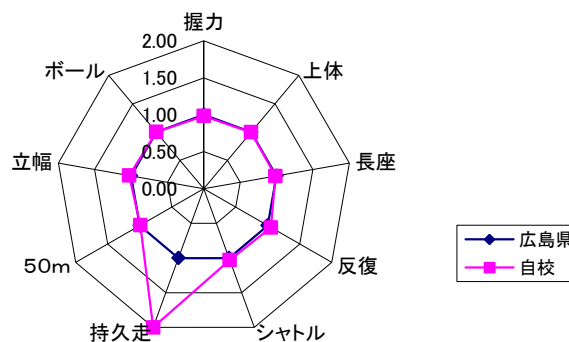
男子の体力合計点 学校 44.90点 県平均 44.40点

女子の体力合計点 学校 53.31点 県平均 52.24

体力・運動能力調査比較(中2男子)



体力・運動能力調査比較(中2女子)



H29体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)

- ・2年生は男女とも全国平均、県平均を下回る結果となった。
- ・走り動作とスタートの技術が十分に身につけていないためと思われる。
- ・走るための瞬発力が不足し、体幹を支える筋力の不足が感じられる。

② ハンドボール投げ(中学校区の課題種目)

- ・2年生は、男子では全国平均で+1.80m、県平均で+1.93m上回り、女子では全国平均で+0.40m、県平均で+0.20mと県平均を上回った。
- ・男子は運動部に所属している生徒も多く、筋パワーだけでなく、ボールを投げる運動になれている生徒が多いが女子は、ボールを投げる動作になれていないことが要因だと考えられる。

③ 上体起こし(自校の課題種目)

- ・2年生は、県平均と比較すると男子で-0.45回、女子で+0.42回、全国平均との比較では、男子で+0.07回、女子で+1.11回と男子は上回っているが、女子は下回っている。
- ・筋力・筋持久力を高める運動を継続して行う必要がある。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目
(50m走)

具体的な数値目標
(男子-0.2秒、女子-0.2秒)

具体的な取組内容

- ・保健体育の授業で、筋力を高めるための運動を取り入れるとともに、巧緻性を高める運動を積極的に取り入れる。
- ・陸上競技の授業の指導で、スタートや中間疾走の姿勢を意識して指導を行う。

②中学校区の課題種目
(ハンドボール投げ)

具体的な数値目標
(男子+1m、女子+1m)

具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定)

- ・小中で連携し、投げる動作を児童生徒の発達段階に合わせて習得できるように共通の運動を取り入れている。
- ・小中一貫の特色を生かした交流を有効に使う、中学生が小学生に教える機会を設定する。

③自校の課題種目
(上体起こし)

具体的な数値目標
(男子+2回、女子+1回)

具体的な取組内容

- ・冬場にサーキットトレーニングを取り入れるなど筋力を高める運動を取り入れる。
- ・保健体育科の授業で体幹を鍛える補強運動を継続的に行う。

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)